

都心循環BRTの検討について

1. 都心部交通対策

■交通の現状と課題

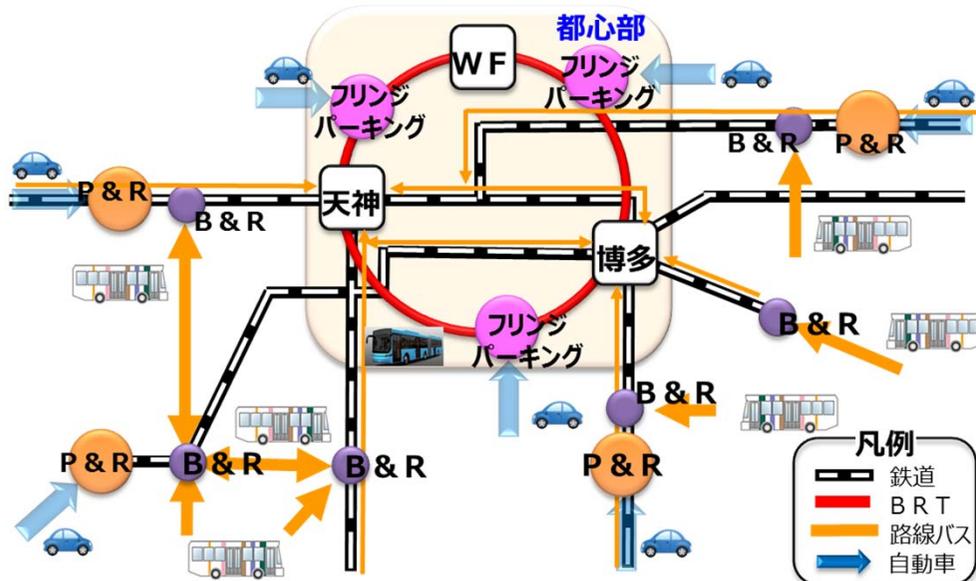
- ・都心部の交通の状況としては、道路ネットワークの整備に伴う都心部通過交通の分散や地下鉄整備によるマイカーからの利用転換により、平日における都心部への流入交通量は減少しつつある。
- ・一方、道路環境が改善され便利になった反面、都心部を目的として直接流入するバス・自動車は多く、依然として道路交通混雑が見受けられる。
- ・都心部においては、天神ビッグバンやWF再整備など都市の活力をけん引する都心部の機能強化と更なる魅力づくりの推進を契機として、陸・海の玄関口であり特色の異なる都心3拠点の機能強化とともに、拠点間の快適・円滑な移動の確保やネットワークの強化を図る必要がある。

■課題解決に向けた方向性

「過度に自動車に依存しない、ひとを中心とした歩いて出かけたくなるまち」を目指し、「道路交通混雑の緩和」や「都心拠点間の交通ネットワークの強化」を図るため、マイカーから公共交通への転換促進や自動車交通を削減・抑制する様々な交通対策を総合的に取り組んでいく。

<主な交通対策>

- ・都心循環BRTの形成
- ・バス路線の再編・効率化
- ・フリンジパークの確保
- ・天神通線等の検討・整備
- ・地下鉄七隈線の延伸
- ・パークアンドライドの推進 など

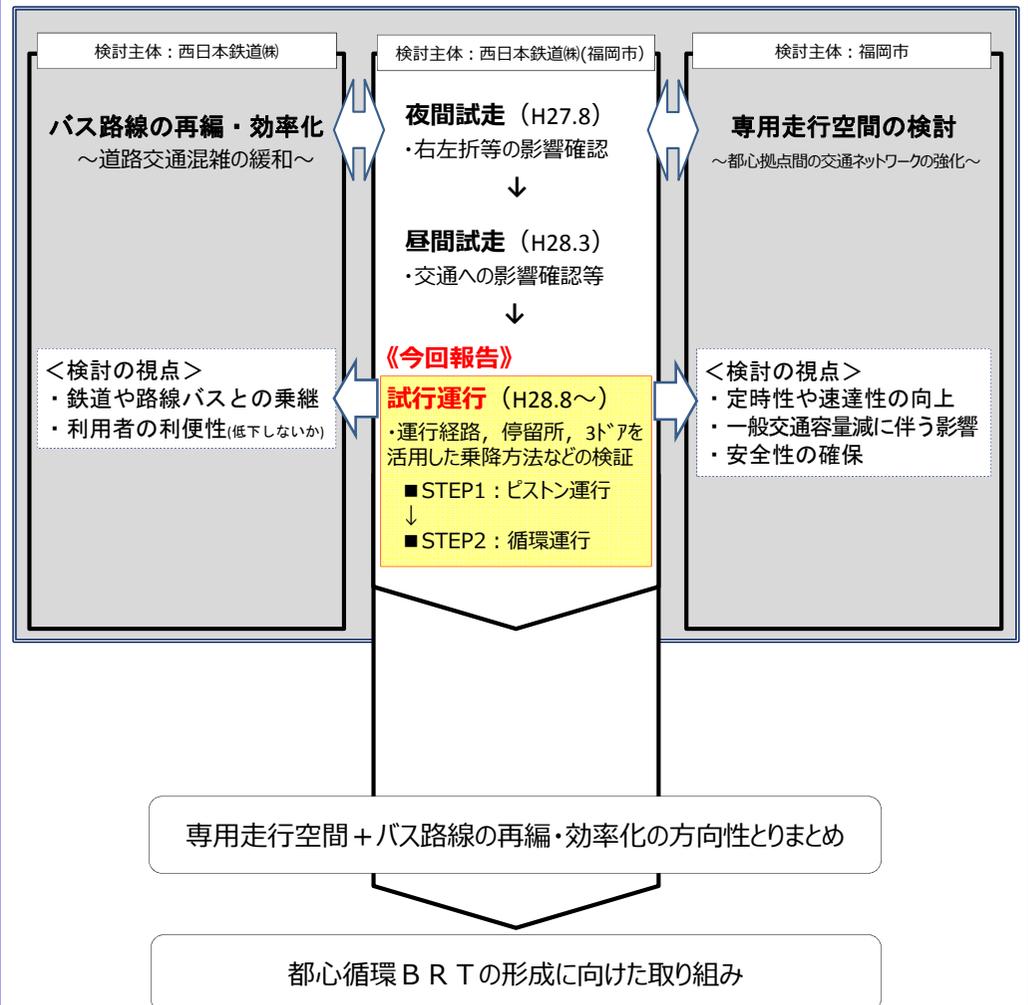


2. 都心循環BRTの形成に向けた進め方

■目的

都心部におけるマイカーの削減・抑制や公共交通の利用促進を図るため、マイカーを都心周辺部の駐車場で受け止めるとともに、地下鉄等の鉄道ネットワークと連携しながら、天神・博多・WFの都心3拠点間を効率よく繋ぐことでスムーズに移動できる、新たな交通プロジェクトとして取り組むもの。

■都心循環BRTの形成に向けた進め方



3. 試行運行

■ 目的

運行経路の検討に加え、乗降方法や運賃など、利用者が乗車するなかで確認すべき運行上の課題などについて、段階を踏みながら検証・検討を行うもの。



<試行運行中の連節バス>

STEP 1 : ピストン運行 (H28.08.08~10.10)

(1) 運行内容

- ①ルート : 天神⇄WF地区、博多駅⇄WF地区 (各6往復/日 計24便/日)
- ②運賃 : 現行運賃
天神⇄WF地区 (190円)
博多駅⇄WF地区 (230円)
- ③停留所 : 天神, 博多駅, WF地区 (3停)
- ④乗降方法 : 2扉乗降 (中・後扉乗車, 前・後扉降車)
- ⑤バス便数 : 試行運行に先立つ路線再編・効率化の実施 (H28.3.6) (大博通り: ▲約30便, 渡辺通り: ▲約80便 等)



<STEP1における走行ルート>

(2) 検証項目

- ・利用者数, 運行上の安全性, 乗降方法, 定時性, 速達性 など

(3) 検証結果

- ①利用者数 : 120名~1,050名/日程度
※8時台(朝ラッシュ時); 最大60名/便「天神・博多駅→WF地区」
※イベント開始時; 100名以上/便「天神・博多駅→WF地区」
※国際航路フェリー到着やイベント終了時等; 最大100名/便「WF地区→天神・博多駅」
- ②安全性 : 利用者の乗降や走行上, 特段の問題なし
- ③乗降方法 : 2扉からの乗降により乗降時間は通常の路線バスと比較して遜色なし
※後扉降車時; 現金払い利用者の両替に伴う時間ロスが一部散見
- ④定時性 : 運行時刻の調整が必要
・運行ルート「天神→WF間」, 「博多駅→WF間」 →所定時分より早い傾向
・回送ルートである「天神→博多駅間」 →所定時分から遅れる傾向
- ⑤速達性 : 快速運行の優位性確認
・同一路線の路線バスと比較すると最大6分早く到着
- ⑥その他 : 乗降方法やバス待ち環境に課題あり
・乗降可能な後扉で, 乗車時におけるICカードのタッチ誤り等あり (降車リーダーへのタッチ)
・バス停におけるバスナビが「始発前」と表示されていたため, 快速運行である連節バスの現在位置が確認できず, 先に到着した路線バスに乗車する傾向あり

STEP 2 への反映

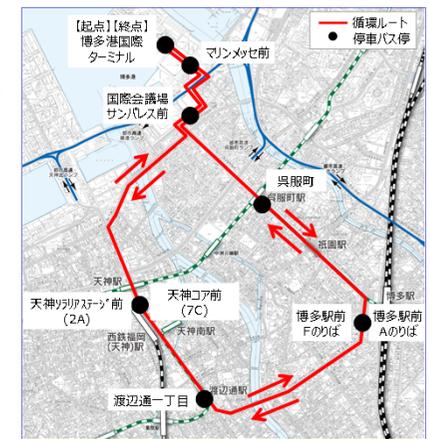
■ 検証の結果判明した課題については, STEP 2において下表の対応を実施

STEP 1 における課題	STEP 2 への対応方針
利用者数 : 便によるばらつき	・利用者動向を踏まえた効果的な運行時刻へ変更
乗降方法 : 後扉における円滑な乗降	・後扉の降車をICカードのみに変更 ・タッチ誤り防止のための車内表示
定時性 : 所定時分と所要時分のズレ	・運行実績を踏まえた運行時刻へ変更
その他 : バス待ち環境	・現在位置等の表示の改善
その他 : 運行形態のわかりにくさ	・外国語対応やポスター・チラシ等による周知

STEP 2 : 循環運行 (H28.10.25~)

(1) 運行内容 (STEP 1 からの変更点のみ記載)

- ①ルート : 3拠点間の循環運行 (内・外回りで各6便/日 計12便/日)
- ②運賃 : 現行運賃 (100, 190, 230円区間)
- ③停留所 : 渡辺通一丁目, 呉服町 の追加
※地下鉄との交通結節点
- ④バス便数 : 路線再編・効率化の実施 (H28.10) (大博通り・渡辺通り: ▲約20便)



<STEP2における走行ルート>

(2) 検証項目

- ・STEP1の検証項目に加え, 利用者の声を把握

(3) 検証方法 (以下の項目を現在調査・集計中)

- ①利用者数 : 便毎やバス停毎の集計
- ②安全性 : 利用者の乗降や走行上の確認
- ③運行経路 : 速達性や安全性を踏まえた検討
- ④停留所 : 追加停留所における利用者数を踏まえた検討
- ⑤利用者の声 : バス利用者やMICE施設利用者を対象としたアンケートの実施

4. 今後の進め方

今後とも, 西鉄と連携しながら, 試行運行による検証・検討を進めるとともに, 専用走行空間のあり方やバス路線の再編・効率化などについて, ひとつひとつ段階を重ねながら検討を進めていく。